

令和4年度事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への適切な対応の下、円滑な組織・事業運営を確保するとともに、都道府県緑化推進委員会と連携を保ちつつ、緑の募金事業や緑と水の森林ファンド事業等を通じ、多様な主体による国民参加の森林づくり等国土緑化運動の一層の推進を図り、併せて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成や「2050年カーボンニュートラル」の実現への貢献に努めた。

また、幅広い国民各界各層による森林づくりを進めていくため、昨年10月に「森林づくり全国推進会議」を設立し、新たな国民運動を始動した。

さらに、東日本大震災等の自然災害による被災地域の緑化や防災林等の整備のための支援を実施した。

国土緑化推進事業

1. みどりの祭典

緑化意識の更なる高揚と、国民参加の森林づくりを一層推進するため、全国植樹祭、全国育樹祭等のみどりの祭典の開催について、新型コロナウイルス感染症対策に留意し、緑の少年団や森林ボランティア等を含む幅広い国民の参加を得て取り組んだ。

令和4年度みどりの祭典の実施状況

行事名 実施時期 場所	主催者	行事概要
第73回全国植樹祭 ・式典 時期：令和5年6月4日 場所：岩手県陸前高田市 (高田松原津波復興祈念公園)	国土緑化推進機構 岩手県	*天皇皇后両陛下御臨席 テーマ「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」 参加者：約4,000人(スタッフ除く) お手植え：南部アカマツ、カシワ、タブノキ、ベニヤマボウシ、ハナヒョウタンボク、ミチノクナシ お手播き：オオヤマザクラ、ケヤキ、ヤブツバキ、ハマナス 併催行事：第51回全国林業後継者大会、緑化関連イベント
第45回全国育樹祭 ・お手入れ 時期：令和4年11月12日 場所：豊後大野市 (大分県県民の森平成森林公園) ・式典 時期：令和4年11月13日 場所：大分市 (昭和電工武道スポーツセンター)	国土緑化推進機構 大分県	*皇嗣同妃両殿下御臨席 テーマ「豊かなおおいた 森林を育み 木と暮らし」 参加者：約4,000人(スタッフ除く) お手入れ内容：皇嗣同妃両殿下による枝打ち・施肥 併催行事等 全国緑の少年団活動発表大会 育林交流集会 森林・林業・環境機械展示実演会 森林フェス

行事名 実施時期 場所	主 催 者	行 事 概 要
第 32 回みどりの感謝祭 ・式典 時期：令和 5 年 5 月 13 日 場所：東京都 （イイノホール） みどりとふれあうフェスティバル（WEB イベント） 時期：令和 5 年 4 月 15 日～ 5 月 14 日	農林水産省 林野庁 東京都 国土緑化推進機構 日本緑化センター 日本森林林業振興会 東京都農林水産振興 財団東京緑化推進委 員会	名誉総裁佳子内親王殿下御臨席 テーマ「感じよう みどりの恵みと 木のぬくもり」 参加者：式典:200 人 WEB イベント ：延べ 6,000 人 みどりの文化賞 ・特定非営利活動法人 森づくりフォーラム

2 . 全国緑化キャンペーン

国民の各層に緑化活動への参加の輪を広げ、国土緑化運動の大幅な前進を図るため、全国緑化キャンペーン期間（1 月 15 日～ 5 月 31 日）を設定し、各種の全国共通キャンペーンを集中的に実施した。

令和 4 年度全国緑化キャンペーンの実施状況

実施期間	1 月 15 日～ 5 月 31 日
共通スローガン	「植える」緑化から「使う」緑化へ
共通アイドルキャラクター	“どんぐりくん”、“どんぐりちゃん”
共通キャンペーンの内容	緑の羽根着用キャンペーン 国土緑化ポスターキャンペーン ほか

3 . 緑化運動各種コンクール及び緑化功労者等各種表彰

幅広い国民の緑化意識の高揚を図るため、引き続き、国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール、全日本学校関係緑化コンクール、緑化功労者の表彰、緑の少年団活動優秀団体の表彰等を行った。

令和4年度各種コンクール及び表彰の実施状況

名 称	受 賞 者	表 彰 会 場	備 考
国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール	特 選 6点 準特選 9点 入 選 36点	第73回全国植樹祭	応募点数 33,854点 応募校数 2,587校
国土緑化運動・育樹運動標語の募集	特 選 2点 入 選 8点	全国緑化推進委員会連絡協議会	推薦 35 道県 322 点 (全国応募数 23,367 点)
全日本学校関係緑化コンクール	特選 5校 準特選 10校 入選 21校 ノースロップ賞 2団体	第73回全国植樹祭	
緑化功労者の表彰	農林水産大臣賞 3名 機構会長賞 3名 林野庁長官賞 7名 機構理事長賞 3名	第73回全国植樹祭	
緑の少年団活動優秀団体の表彰	大会会長賞 5団 機構理事長賞 5団 少年団連盟会長賞 5団	第45回全国育樹祭	
緑の少年団育成会の表彰	団体 2団体 個人 3名	第45回全国育樹祭	
全国育樹活動コンクール	団体の部 農林水産大臣賞 1団体 林野庁長官賞 2団体 機構理事長賞 4団体 個人の部 農林水産大臣賞 1名 林野庁長官賞 -名 機構理事長賞 -団体	第45回全国育樹祭	
ふれあいの森林づくり表彰 ^{もり}	機構会長賞 3団体 1村 機構理事長賞 5団体 1市	第45回全国育樹祭	

4．普及啓発活動

国民参加の森林づくり運動の普及を図るため、以下の活動を行った。

- (1)「国民参加の森林づくりシンポジウム」の開催
(令和4年12月(茨城県常陸太田市))
- (2)「森と緑に親しむ旬間」(令和4年7月21日~31日)において、「第34回森と湖のある風景画コンクール」を実施した。
- (3)「緑の募金だより」等で、緑化運動の普及に努めるとともに、当機構ホームページの充実に努めた。
- (4)ミス日本協会との連携により、令和5年1月の「ミス日本コンテスト」の選考において「2023 ミス日本みどりの大使」を選定するとともに、みどりの大使による森林・みどりの重要性をPRする活動を支援した。

5．青少年緑化活動

青少年の緑化活動の推進を図るため以下の事業を実施した。

- (1)緑の少年団活動
緑の少年団は全国で3,095団、319,178名(令和5年1月1日現在)となっており、当機構ホームページ等により情報の発信に努めるとともに、少年団活動を促進するため、22団に活動経費を助成した。
また、緑の少年団指導者研修交流会(東京会場：令和4年11月18日、京都会場：令和4年11月19日開催)等を通じて、緑の少年団活動の推進を図った。
- (2)学校林活動
当機構ホームページにより学校林等のフィールドの利活用情報を発信するとともに、緑と水の森林ファンド事業を通じて学校林活動の推進を支援した。
また、都道府県緑化推進委員会及び森林ボランティア団体等と連携して森林環境教育促進事業を21校で実施するなど学校林活動の推進を図った。
- (3)緑の少年団活動の活性化及び森林ESD(森林環境教育)の推進
「緑の少年団」活動の活性化を図るため、「緑の少年団」「森林環境教育・森林ESD」あり方検討委員会を設置し、山梨県庁及び三重県庁の教育関係部署と林務部署を連携した意見交換会を行った。また、全国オンラインセミナーを開催し、検討委員会の内容を広く共有した。

6．新たな森林づくり推進国民運動の展開

- (1)「フォレスト・サポーターズ」の推進
多様なセクターと密接な連携・協力を図りつつ、エコプロ2022などの各種イベント等を通じて「フォレスト・サポーターズ」への登録・参画を積極的に呼び掛けた。(令和5年6月末現在7万件の登録)

(2) 森林づくり全国推進会議の取組

昨年10月に新たに設立された「森林づくり全国推進会議」の事務局としてSDGsの達成やカーボンニュートラルの実現に寄与する森林づくりを推進した。

林野庁、「林業復活・地域創生を推進する国民会議」等と連携・協力し、発足式及びシンポジウムを開催した。

7. 森林空間の新たな利活用の推進

山村地域の豊かな森林資源を健康、教育、観光等に活用し、新たな森と人とのかかわりを創出するため、森林サービス産業検討委員会を設け、企業の健康経営に視点をあててモデル地域等を選定し、人材育成やエビデンス取得等に取り組んだ。

これらの成果を周知するため「フォーラム」(東京都/WEB配信、令和5年2月28日)を開催した。また、長野県等と連携し、公民連携による拠点施設・フィールドの活用促進のための「オープン・ラボ」(長野県、令和5年5月16日、17日)や、林野庁が事務局を務める「Forest Styleネットワーク」と連携して、企業研修をテーマにした「Forest Styleラボ」(群馬県/WEB併用、令和5年6月13日)を共催した。令和2～4年度林野庁補助事業で実施した「森林サービス産業」モデル事業(健康経営分野)の成果を普及するため、『「森林サービス産業」エビデンス取得に関する手引き』を作成し、WEBサイトに掲載した。

8. 海岸防災林の再生支援に向けた取組

被災地支援に用途を限定した緑の募金を呼び掛けるとともに、こうして集められた募金を活用してNPO等による海岸林再生の取り組みを支援した。

9. 国民参加の森林づくりの推進に関する取組

企業、NPO等の多様な主体が実施する森林づくりを進めるため、マッチングやコーディネートを行うサポート団体を公募により選定し支援した。また、SDGsやカーボンニュートラルと森林についての普及啓発を図るため、「森林×企業 SDGs ハンドブック」、「森林と気候変動」(基礎資料集、おとな版、キッズ版)を改訂・増刷し配布した。

緑の募金

国民の森林づくりへの関心を、緑を守り育てる具体的な運動に結びつけるため、「緑の募金全国一斉強調月間」を設定し積極的な募金活動を展開するとともに、多様な募金事業を実施した。

1. 緑の募金推進体制の整備と募金活動の推進

(1) 推進体制の整備

全国組織を持つ報道・通信・公共交通機関、公益団体、農林水産団体等各種団体、コンビニエンスストア、フランチャイズチェーン等に緑の募金への協力を要請した。

(2) 普及啓発・広報活動の実施

「緑の募金で進めよう SDGs」をスローガンに、「森林を守る 森林を活かす」のポスター・キャッチコピーも活用し、「緑の募金キャンペーン 2023」を「みどりの月間」を中心に実施した。

国土緑化巡回写真展「日本の森林いまむかし～蘇る山々の緑～」を開催し、地球温暖化防止や森林保全の重要性などと呼び掛けた。

森林が持つ様々な役割や大切さをこども達に伝える「森の教室」を、初開催の栃木県、愛媛県及び福岡県など 16 道県 41 か所で開催し、1,883 人の園児が参加した。

また、団体等機関広報誌、協賛広告との連携及びマスコミへの情報提供並びにホームページや SNS 活用等により情報発信の充実に努めた。

(3) 募金活動の強化

企業、団体等に対し積極的に募金要請を行うとともに、ホームページや各種媒体により募金への協力を呼び掛けた。また、東日本大震災等の自然災害被災地の復旧支援に充てるため、使途限定募金への協力を呼び掛けるとともに、募金状況や事業の実施状況をホームページで公表した。

募金活動の実施に当たっては、関係する政府等のガイドラインなどに基づき、新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施した。

この結果、令和 4 年度の緑の募金額(中央募金)は、緑の募金収入 3 億 7,253 万円に加え、特定事業寄附金収入等を合わせ 4 億 7,323 万円になった。

2. 緑の募金事業の実施

緑の募金事業の実施に当たっては、全国的または国際的見地からモデル性のあるものを優先して、直接事業 114 件、公募事業 128 件、計 242 件を助成した。

直接事業のうち、東日本大震災等の自然災害による被災地域の復旧に向けて、防災林等の森林整備や居住地域周辺や学校周辺の緑化等を「緑の募金」により支援する「東日本大震災復興支援事業」等につき 9 件を助成した。また、学校周辺での緑化活動を通じて環境整備を推進する「学校環境緑化モデル事業」を 77 件で助成した。

さらに、全国の森の名人等を訪ね、高校生が森とともに生きる知恵や技などを「聞き書き」により記録し発信する「聞き書き甲子園」は、WEB を併用して研修の上、感染症拡大防止対策を徹底しつつ現地取材を実施し、成果報告の場としてフォーラムを開催 (WEB 併用) した。

事業の実施にあたっては、地域の状況を踏まえ、関係する政府等のガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施した。

募金事業の実施概要は以下のとおりである。

令和4年度緑の募金事業の実施状況

事業項目	事業内容
森林整備	<p>Forest Style 普及に向けた森林づくり（神奈川県他）</p> <p>企業等の参画による森林づくり（全国）</p> <p>地球温暖化防止や生物多様性保全に向けた森林づくり（静岡県他）</p> <p>東日本大震災復興支援（宮城県他）</p> <p>SDGs 達成貢献（熊本県）</p> <p>公募事業「北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動」 等</p> <p>（助成事業内訳 直接事業 22 件 公募事業 50 件 計 72 件）</p>
緑化推進	<p>国土緑化の普及・啓発・推進（全国）</p> <p>青少年の体験学習の森林づくり（全国）</p> <p>全国植樹祭等関連（岩手県）</p> <p>東日本大震災復興支援（岩手県他）</p> <p>自然災害被災地復旧支援（熊本県）</p> <p>SDGs 達成貢献（新潟県）</p> <p>公募事業「こどもたちとつなぐ未来の森プロジェクト」 等</p> <p>（助成事業内訳 直接事業 85 件 公募事業 55 件 計 140 件）</p>
国際緑化	<p>学校地域連携での水環境改善プロジェクト（インドネシア）</p> <p>島嶼部での生物多様性保全と海岸防災林造成プロジェクト（フィジー）</p> <p>アフリカ環境植林（マリ）</p> <p>地球温暖化防止植林（中国）</p> <p>SDGs 達成貢献植林（カンボジア他）</p> <p>緑の国際ボランティア研修（カンボジア）</p> <p>公募事業「アンデスの学校菜園を守る植林と緑の交流」 等</p> <p>（助成事業内訳 直接事業 7 件 公募事業 23 件 計 30 件）</p>

緑と水の森林ファンド

1．緑と水の森林ファンドの適切な運用

緑と水の森林ファンドについては、令和4年度末残高は175億4,038万円であり、特に昨今の歴史的な円安など金融を取り巻く内外情勢を踏まえ、安全性の確保を図りつつ効率的な運用に努めた結果、令和4年度の運用収入は408百万円となった。

2．緑と水の森林ファンド事業の実施

令和4年度の事業実施に当たっては、国内外における森林に対し、地球温暖化の防止、国土の保全、水資源のかん養、森林環境教育の場の提供など、森林・みどりへの関心・理解が深まってきていることを踏まえ、「国民参加の森林づくり」運動につなげるために、SDGsの普及定着の促進を基本的理念としつつ、次の重点課題を中心に事業を実施した。

一方、新型コロナウイルス感染症対策として「みどりの感謝祭」をはじめとして多くの事業が内容の変更、若しくは、中止を余儀なくされたものの、可能な限りWEBの活用等開催方法を工夫した。

3．重点課題

(事業の重点課題)

人生100年時代におけるライフステージに応じた森林空間利用の促進

「緑や水」「森林と木材の利用」「震災復興支援」など森林に関する総合的・効果的な普及啓発

地域材の利用推進等山村資源の有効活用等による山村地域の活性化

リーダーの養成、森づくり活動における安全確保、ネットワーク形成支援等による森林ボランティア活動支援

学校林活動など森林ESD(森林環境教育)の促進や緑の少年団活動支援、中高等教育との連携等による次世代の育成

森林の公益的機能、持続的な森林づくりの循環等に関する調査研究

4 各事業の実施状況

(1) 中央事業

多くの事業が新型コロナウイルス感染症対策として変更・中止になったが、普及啓発、調査研究、活動基盤整備のそれぞれにおいて、WEB等を活用して効率的かつ効果的な事業実施に努めた。

区 分	事 業 内 容	摘 要
1 普及啓発 (37件)	<p>(1) 普及啓発活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林・みどりについて広く普及啓発活動を推進 ・みどりの文化賞の顕彰 ・機関誌「ぐりーん・もあ」のWEB化の検討 ・国民参加の森林づくり運動におけるSDGsの普及定着に向けた取り組みの強化 ・ホームページ、インターネット等の充実 ・教科等と連動した森林ESD実施モデル創出 ・ウッドデザイン賞の顕彰 ・機構名入れカレンダーへのポスター原画コンクール応募作品の活用等 <p>(2) 各種イベント、シンポジウム等の実施・助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巨木を語ろう全国フォーラム in 三宅島 ・木材利用推進シンポジウム(東京都) ・国民参加の森林づくりシンポジウム(茨城) ・国際森林デー中央行事(東京都) ・森林・木材に関する公開シンポジウム(鳥取) ・みどりの感謝祭等 <p>(3) 地方活動への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックイベント等 	<p>・5年5月</p> <p>・4年10月</p> <p>・4年11月</p> <p>・4年12月</p> <p>・5年3月</p> <p>・5年3月</p> <p>・5年5月</p>
2 調査研究 (8件)	<p>(1) 森林生態系の環境変化に対する適応性・抵抗性に関する調査研究</p> <p>(2) 文化財補修用材の供給を担ってきた大規模林家等の実状及び意向に関する調査</p> <p>(3) 林政史資料の保全とデータベース構築</p> <p>(4) Forest Style ラボ開催など森林サービス産業に関する推進課題の検討</p> <p>(5) 緑の少年団の活性化に関する調査等</p>	

区 分	事 業 内 容	摘 要
3 活動基盤整備 (14件)	(1)森林ボランティア活動の推進・支援等 ・森林と市民を結ぶ全国の集い (2)全国緑の少年団連盟等への活動支援 ・緑の少年団指導者研修交流会 ・緑の少年団活動促進事業 ・都道府県連盟への活動支援 等 (3)全日本学校関係緑化コンクール (4)学校林を活用した森林環境教育の促進 (5)高校生ポスター発表会(日本森林学会) 等	・5年6月 ・4年11月 ・全国21校 ・5年3月
4 国際交流 (1件)	・森林・林業を専攻する高校生による国際交流の実施に向けた条件整備・現地状況の調査 (森林・林業専攻高校生国際交流-インドネシアは、中止)	
合計 60件		

(2) 都道府県事業

中央事業との連携を図りつつ、各地域の森林・林業の実態を踏まえ、都道府県緑化推進委員会が主体となって、177件の事業を実施した。主な事業は以下のとおり。

区 分	事 業 内 容	摘 要
1 普及啓発 (119件)	(1) 森林づくり運動キャンペーン 緑化推進大会、グリーンフェスティバル、講演会、県植樹祭、みどりの日・山の日の集い、森林林業写真・作文コンクール、森林ふれあいフェア、緑化普及資材配布等 (2) 山村地域等の活性化 地域の林業祭、ふるさと緑化推進活動、森林・木とのふれあい交流、山村フェア等 (3) 住民参加の森林づくり 家族での緑とのふれあい、森林・木ふれあい活動、森林友の会育成、巨樹・巨木巡りツアー、地域住民による緑化推進活動等 (4) 青少年の森林環境教育 緑の体験教室、森林・緑・自然に親しむ集い、森林林業体験教室、森林・巨樹巨木とのふれあい事業、自然観察会等 (5) 木材需要拡大等 木製品普及啓発、利用拡大推進活動、ウッドフェスタ、森と木の暮らしフェア等	
2 調査研究 (4件)	ふるさとの杜・樹木活力調査関係	
3 活動基盤 整備 (54件)	(1) 森林ボランティア活動の支援 (2) 森林ボランティアリーダーの養成 (3) 農山村と都市住民等との交流促進 (4) 山村活性化と森林整備 (5) 青少年育成の場としての森林活用促進 (6) 地域のシンボリック森林の利活用促進 (7) 企業の森林づくりの促進	
4 国際交流 (0件)		
合計 177件		

(3) 公募事業

民間団体等の有する機動的・弾力的な活力を活かしつつ「国民参加の森林づくり」運動を推進するため、全国各地から幅広く応募のあった 109 件のうち 96 件を採択し事業費の一部について助成した。主な事業は以下のとおり。

事業区分	事業内容	摘要
1 普及啓発 (69件)	(1)森林・緑・水に対する国民の認識を深めるための普及啓発活動 (2)青少年を対象とする森林 ESD の推進（森のようちえんを含む）等森林環境教育の促進 (3)森林づくり活動や森林の総合的利用を通じた山村地域の活性化・地域づくり運動の推進 (4)地域材の利用・木材需要の拡大、木質製品利用推進に関する普及啓発 等	
2 調査研究 (10件)	(1)養成校と地域が連携した自然保育の人材育成・確保に向けた実証的研究 (2)「働き方改革実行計画」に合わせたメンタルヘルス対策の仕組み作り (3)森林空間を活用した健康活動と森のアクティビティの融合による森林での活動習慣の定着化に関する調査 等	
3 活動基盤 整備 (15件)	(1)森林ESD（森のようちえんを含む）など森林を活用した環境教育等の青少年の育成に関するもの (2)森林ボランティアリーダーの養成・ネットワーク構築等 (3)森林づくり活動を通じた農山村と都市住民等との交流促進 等	
4 国際交流 (2件)	IUFRO OKINAWA 2022: Progress in Small-scale Forestry beyond the pandemic and global climate change 等	
合計 96件		

参考資料

1. 令和4年度主な緑化行事

(単位:人)

	行 事 名	開催時期	開催場所	行 事 内 容	主催者	参加者数
1	緑の募金キャンペーン2022秋	9月1日(木)～10月31日(月)	全国	スローガン:「緑の募金で進めようSDGs」、ポスター、シール、リーフレット、募金箱等	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	
2	森林ボランティアの日	9月第3日曜日	全国	森林ボランティア活動のイベントを集中的に実施	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会 参加ボランティア団体	
3	第1回森林づくり全国推進会議	10月21日(金)	東京都 / WEB配信	発足式、シンポジウム	森林づくり全国推進会議(事務局:国土緑化推進機構)	200
4	緑の少年団指導者等研修交流会	11月8日(火)～2月28日(火)	東京都・京都府 / WEB併催	各県緑の少年団連盟関係者、指導者の研修・交流会 東京:令和4年11月18日開催 京都:令和4年11月19日開催	全国緑の少年団連盟 国土緑化推進機構	延べ閲覧数 680
5	全国緑の少年団活動発表大会	11月12日(土)	大分市	緑の少年団活動の優良事例発表(5団)	国土緑化推進機構 大分県 全国緑の少年団連盟	
6	育林交流集会	11月12日(土)	大分市	プログラム主題:「森を使い、暮らしを創る」 事例発表	大分県 国土緑化推進機構	104
7	第45回全国育樹祭	11月12日(土) 11月13日(日)	お手入れ:豊後大野市(平成森林公園) 式典:大分市(レゾナック武道センター)	テーマ:「豊かなおおいた 森林を育み 木と暮らし」 皇嗣同妃両殿下御臨席	国土緑化推進機構 大分県	3,300
8	国民参加の森林づくりシンポジウム	12月1日(木)	常陸太田市	テーマ:「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」 基調講演、パネルディスカッション	茨城県 国土緑化推進機構 朝日新聞社 森林文化協会	410
9	エコプロ2022「森と木で拓くSDGsゾーン」	12月7日(水)～9日(金)	東京国際展示場「ビッグサイト」	フォレストサポーターズ等の参加促進、展示	国土緑化推進機構等	60,000
10	全国緑化キャンペーン2023	1月15日(日)～5月31日(水)	全国	スローガン:「『植える』緑化から『使う』緑化へ」 ポスター、リーフレット	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	
11	緑の募金キャンペーン2023春	1月15日(日)～5月31日(水)	全国	スローガン:「緑の募金で進めようSDGs」 ポスター(「森林を守る 森林を活かす」)、リーフレット、募金箱、ラジオCM、TVCM用VTR	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	
12	森林ボランティア活動助成オンラインセミナー2023	2月上旬～3月上旬	WEB開催 / 配信	活動取組発表、助成プログラム紹介、個別相談	国土緑化推進機構	700
13	「森林サービス産業」フォーラム2023	2月28日(火)	東京都 / WEB配信	R4年度モデル地域成果報告、協定締結した企業からの報告、エビデンス取得手法の紹介等	「森林サービス産業」フォーラム実行委員会(林野庁、国土緑化推進機構等)	360
14	「緑の少年団」「森林環境教育・森林ESD」推進全国セミナー2023	3月1日(水)	WEB開催	事例報告、質疑応答、意見交換会	国土緑化推進機構	127

	行 事 名	開催時期	開催 場 所	行 事 内 容	主催者	参加者数
15	国際森林デー中央行事	3月18日(土)	東京 海の森公園	国際森林デーを記念し、森林や樹木への意識を高めるための展示	国際森林デー中央行事実行委員会	1800
16	第21回聞き書き甲子園フォーラム	3月26日(日)	東京大学弥生講堂 一条ホール WEB併催	優秀作品表彰、特別講演、森・川・海の名人と高校生のトークショー、展示	聞き書き甲子園実行委員会	260
17	緑の募金 全国一斉強調月間	4月15日(土)～ 5月14日(日)	全国	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに各種のイベント、募金など多様な活動を展開	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	
18	みどりの大使による「緑の羽根着用キャンペーン」	4月中旬～5月上旬	東京都内	内閣総理大臣や経済界の要人等に、みどりの大使より「緑の羽根」の着用をお願い	国土緑化推進機構	
19	みどりとふれあうフェスティバル	4月15日(土)～ 5月14日(日)	WEB開催	イベント情報、みどりの動画等の発信	みどりの感謝祭運営委員会	6,000
20	ラジオパークin日比谷2023	4月22日(土) 23日(日)	東京都 日比谷公園	緑の募金の紹介展示、みどりの大使による「緑の募金」呼びかけ	国土緑化推進機構等	2,000
21	みどりの日	5月4日(木・祝)	全国	自然観察会、森林ボランティア活動など	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	
22	第32回みどりの感謝祭	5月13日(土)	東京都(イノホール)	式典(名誉総裁佳子内親王殿下御臨席、みどりの文化賞表彰、山火事予防ポスター作品表彰など)	みどりの感謝祭運営委員会	200
23	第73回全国植樹祭	6月4日(日)	岩手県陸前高田市 (高田松原津波復興祈念公園)	テーマ「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」 天皇皇后両陛下御臨席	国土緑化推進機構 岩手県	4,000
24	森林と市民を結ぶ全国の集い2023	6月10日(土)、 11日(日)	東京都 / WEB配信	テーマ:「続・森は誰のもの?～森林 commons を活かす明日へ～」 オープニング・クロージング・セッション、分科会	「森林と市民を結ぶ全国の集い2023」実行委員会 国土緑化推進機構	300
	以下余白					

2. 令和4年度各種コンクール及び表彰の実施状況

(1) 令和5年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者

賞	受賞者		
小学校の部			
特選			
文部科学大臣賞	杉野 彩来	愛知県 一宮市立向山小学校	5年
農林水産大臣賞	田中 里歩	千葉県 習志野市立谷津南小学校	6年
準特選			
林野庁長官賞	坂本 陽	千葉県 袖ヶ浦市立昭和小学校	2年
	長田 希和	山梨県 大月市立大月東小学校	6年
	大沢 紗沙羅	京都府 南丹市立殿田小学校	3年
入選			
国土緑化推進機構理事長賞	岡田 梓	岩手県 盛岡市立城北小学校	3年
	及川 璃音	岩手県 遠野市立綾織小学校	1年
	三浦 悠聖	宮城県 大崎市立古川第五小学校	5年
	荒川 梨子	埼玉県 本庄市立本庄西小学校	4年
	森 遙乃	東京都 文京区立小日向台町小学校	6年
	得川 小陽	石川県 能美市立浜小学校	4年
	雨宮 聖華	山梨県 山梨大学教育学部附属小学校	1年
	岡田 梨世	愛知県 名古屋市立城北小学校	1年
	国寄 稀優	滋賀県 愛荘町立愛知川東小学校	2年
	野村 光那	大阪府 箕面市立西南小学校	4年
	西 慶人	兵庫県 西宮市立安井小学校	2年
	加藤 未衣	広島県 広島市立五日市中央小学校	4年
	三好 舞花	広島県 広島市立古市小学校	6年
	上野 加友奈	山口県 宇部市立川上小学校	6年
	上窪 南海	香川県 綾川町立陶小学校	2年
	桑原 朱朔	長崎県 長与町立長与北小学校	5年
	蒲池 ひまり	長崎県 佐世保市立大久保小学校	2年
	矢野 心羽空	大分県 大分市立敷戸小学校	4年
中学校の部			
特選			
文部科学大臣賞・国土緑化推進機構会長賞	山口 元豊	宮崎県 宮崎市立住吉中学校 (育樹運動ポスターとして採用)	2年
農林水産大臣賞	松本 みなみ	埼玉県 さいたま市立春里中学校	2年

賞	受賞者		
準特選			
林野庁長官賞	島本 陽子	東京都 八王子市立松木中学校	2年
入選	大長 叶采	静岡県 静岡県立清水南高等学校中等部	3年
国土緑化推進機構理事長賞	宮武 瑛南	香川県 高松市立塩江中学校	1年
	渡辺 さくら	山形県 米沢市立第七中学校	2年
	相澤 光里	山形県 南陽市立沖郷中学校	2年
	池田 菜乃	千葉県 千葉市立蘇我中学校	1年
	中川 桃乃	長野県 信州大学教育学部附属長野中学校	3年
	宮原 由安	愛知県 一宮市立南部中学校	1年
	塩尻 聡子	大阪府 大阪市立東中学校	3年
	藤井 いちか	奈良県 生駒市立鹿ノ台中学校	2年
	村上 璃愛良	広島県 広島市立城山中学校	2年
	野村 寛	香川県 香川県立香川中部養護学校	1年
	川上 真央	佐賀県 佐賀市立思斉中学校	3年
	浦本 陽向	熊本県 嘉島町立嘉島中学校	2年
	谷口 真愛	鹿児島県 鹿児島市立吉野東中学校	3年
高等学校の部			
特選			
文部科学大臣賞	玉置 花怜	大阪府 大阪府立堺西高等学校	1年
農林水産大臣賞・国土緑化推進機構会長賞	山崎 紗更	埼玉県 埼玉県立大宮光陵高等学校 (国土緑化運動ポスターとして採用)	1年
準特選			
林野庁長官賞	田代 みなみ	愛知県 名古屋市立工芸高等学校	3年
	吉川 琉依耶	香川県 香川県立高松工芸高等学校	2年
	和泉 沙音	香川県 香川県立高松工芸高等学校	2年
入選			
国土緑化推進機構理事長賞	藤田 若葉	岩手県 岩手県立花巻北高等学校	2年
	高橋 みのり	群馬県 樹徳高等学校	2年
	川端 美咲	石川県 石川県立工業高等学校	2年
	前川 直緒	石川県 石川県立工業高等学校	1年
	上嶋 いろは	京都府 京都先端科学大学附属高等学校	1年
	崎山 里瀬菜	沖縄県 沖縄県立普天間高等学校	2年

(2) 令和5年用国土緑化運動・育樹運動標語入賞者

賞	受賞者		
国土緑化運動標語 特選	曾根 悠生	愛媛県今治市立亀岡小学校	3年
育樹運動標語 特選	中山 春花	新潟県長岡市立大島中学校	1年
入選	須田 大翔	栃木県上三川町立北小学校	6年
	橋本 琉愛	群馬県前橋市立山王小学校	6年
	中川 芳彦	神奈川県	一般
	松崎 敬示	富山県	一般
	奈良 咲香	岐阜県大野町立揖東中学校	1年
	古川 稀琉愛	静岡県富士宮市立大富士小学校	5年
	堀場 睦生	愛知県江南市立宮田小学校	6年
	戸井 稜人	徳島県石井町立石井中学校	2年

(3) 令和4年度全日本学校関係緑化コンクール入賞団体

賞	受賞者	
学校林等活動の部 小学校 特選 農林水産大臣賞・日本放送協会会長賞	岩手県	葛巻町立江刈小学校
準特選 国土緑化推進機構会長賞	福島県	会津若松市立川南小学校
	長野県	学校法人いいづな学園グリーン・ヒルズ小学校
	山口県	美祢市立於福小学校
	鹿児島県	出水市立上場小学校
入選 国土緑化推進機構理事長賞	東京都	板橋区立緑小学校
	山梨県	甲州市立大和小学校
	愛知県	瀬戸市立陶原小学校
中学校 特選 農林水産大臣賞	滋賀県	彦根市立鳥居本中学校
準特選 国土緑化推進機構会長賞	秋田県	湯沢市立山田中学校
入選 国土緑化推進機構理事長賞	宮崎県	綾町立綾中学校
高等学校 特選（農林水産大臣賞）	該当なし	
準特選（国土緑化推進機構会長賞）	該当なし	

賞	受賞者
入選 国土緑化推進機構理事長賞	山形県 学校法人羽黒学園羽黒高等学校
学校環境緑化の部 小学校	
特選 文部科学大臣賞・日本放送協会会長賞	山口県 阿武町立福賀小学校
準特選 国土緑化推進機構会長賞	埼玉県 加須市立原道小学校 愛媛県 松野町立松野東小学校
入選 国土緑化推進機構理事長賞	宮城県 宮城県立気仙沼支援学校 山形県 東根市立高崎小学校 福島県 会津若松市立大戸小学校 茨城県 東海村立白方小学校 東京都 板橋区立緑小学校 山梨県 身延町立下山小学校 静岡県 牧之原市立萩間小学校 滋賀県 大津市立比叡平小学校 広島県 広島市立中野小学校 熊本県 熊本市立山ノ内小学校 宮崎県 日之影町立日之影小学校 鹿児島県 霧島市立安良小学校
中学校 特選	
文部科学大臣賞	埼玉県 行田市立太田中学校
準特選 国土緑化推進機構会長賞	秋田県 大仙市立太田中学校 広島県 東広島市立高美が丘中学校 鹿児島県 十島村立宝島小・中学校
入選 国土緑化推進機構理事長賞	茨城県 常陸大宮市立明峰中学校 熊本県 熊本市立下益城城南中学校 宮崎県 高原町立後川内中学校
高等学校 特選	
文部科学大臣賞	栃木県 学校法人開桜学院日々輝学園高等学校
準特選（国土緑化推進機構会長賞）	該当なし
入選 国土緑化推進機構理事長賞	大阪府 大阪府立守口支援学校
協力者 協力賞（ノースロップ賞） （団体の部）	東京都 サンシティグリーンボランティア 愛知県 豊田市立若林西小学校 PTA

(4) 令和4年度緑化功労者

賞	受賞者			
農林水産大臣賞	岩手県	鈴木 善久	東京都	小作 四郎
	滋賀県	北村 正隆		
国土緑化推進機構会長賞	石川県	佐々木修二	山口県	白神 勉
	愛媛県	安部 六月		
林野庁長官賞	山形県	織田 洋典	山梨県	望月 光彦
	岐阜県	高橋 利見	静岡県	杉山 信沃
	兵庫県	小川 薫	福岡県	吉岡 学
	鹿児島県	川添 義一		
国土緑化推進機構理事長賞	北海道	三津橋 央	広島県	松永 泰雄
	佐賀県	山口 和行		

(5) 令和4年度緑の少年団関係入賞団体

賞	受賞者	
全国緑の少年団活動発表大会 みどりの奨励賞 (国土緑化推進機構理事長賞)	山形県	米沢市緑の少年団
	岐阜県	城山小学校みどりの少年団
	島根県	横田中学校緑の少年団
	愛媛県	日浦緑の少年団
	大分県	三郷小学校みどりの少年団
緑の少年団交流大会 みどりの奨励賞 (全国緑の少年団連盟会長賞)	北海道	札幌市立駒岡小学校緑の少年団
	福島県	会津若松市立大戸小学校緑の少年団
	富山県	小杉花とみどりの少年団
	愛知県	宮の森みどりの少年団
	宮崎県	椎葉村立尾向小学校みどりの少年団
優良賞	山梨県	芦川緑の少年少女団
	佐賀県	嬉野町大野原緑の少年団
	熊本県	南関緑の少年団
緑の少年団育成成功労団体等 (国土緑化推進機構理事長賞) (団体の部)	山形県	一般財団法人田沢自彊会 (米沢市緑の少年団)
	大分県	日田市高瀬公民館 (高瀬みどりの少年団)
(個人の部)	山梨県	木下 強 (大和小緑の少年団)
	滋賀県	川橋 袖子 (近江八幡市緑の少年団)
	愛媛県	山内 翔平 (日吉緑の少年団)

(6) 令和4年度全国育樹活動コンクール入賞者

賞	受賞者
団体の部	
農林水産大臣賞	岩手県 釜石地方森林組合
林野庁長官賞	山梨県 有限会社 天女山 兵庫県 兵庫県漁業協同組合連合会
国土緑化推進機構理事長賞	栃木県 ふれあいの森 伊勢崎 愛知県 瀬戸椿の会 滋賀県 安八いちまる会 大分県 おおいた上野の森の会
個人の部	
農林水産大臣賞	大分県 清瀧 毅

(7) 令和4年度ふれあいの森林^{もり}づくり表彰入賞者

賞	受賞者
国土緑化推進機構会長賞	栃木県 神鋼真岡旧友会 山梨県 中央森林組合 山口県 浅江地区コミュニティ協議会 潮音寺山里山づくり推進部 大分県 千部もみじ村
国土緑化推進機構理事長賞	福島県 南会津町横町区 石川県 白山瀬波の会 大阪府 かしわら森の会 兵庫県 姫路市 徳島県 東とくしま農業協同組合 福岡県 三苫松林再生会

3 . 令和4年度主な広報・普及活動等

項 目	発 行 部 数	主 な 配 布 先
[広 報 活 動] 機関紙「ぐりーん・もあ」の発行 (休刊・再開準備中)	季刊 年4回 各号24,500部	会員、都道府県・緑化推進委員会、森林フ ァンド・募金協力者、林業関係団体、マス コミ関係等
「緑の募金だより」の発行	年2回発行 秋 15,000部 春 22,000部	会員、都道府県・緑化推進委員会、林業関 係団体、募金協力者等
[普及啓発資料等] 「緑の少年団情報誌」	6,100部	都道府県緑の少年団連盟等
「緑の少年団指導者研修交流会」	WEB公開	
「令和5年用国土緑化運動ポスター原画コンク ール入賞作品集」	5,500部	応募校、教育長、都道府県・緑化推進委員 会
「令和5年用国土緑化運動等ポスター原画コンク ール特選作品ポストカード」	5,500部	教育長、都道府県・緑化推進委員会 受賞校、都道府県・緑化推進委員会、募金
「緑の募金事業報告集」	WEB公開	事業実施団体、募金協力者、関係団体 緑化推進委員会、募金協力者
「緑と水の森林ファンド公募事業報告集」	WEB公開	都道府県・緑化推進委員会、林業関係団体
「緑と水の森林ファンド都道府県事業報告集」	150部	都道府県・緑化推進委員会、林業関係団体
[緑化推進資材等] ポスター (緑化・育樹)	56,200部	都道府県・緑化推進委員会、関係機関
ポスター (緑の募金)	48,900部	緑化推進委員会、関係機関等
ユニフォーム	742点	緑の少年団、都道府県・緑化推進委員会、 関係機関
スカーフ留め具類	1,278点	関係機関
図書(緑の手帳等)	5,482部	都道府県・緑化推進委員会、関係機関
募金グッズ(緑の羽根)	91,000本	募金協力者、林業関係団体等